

## 保育者養成における音楽指導に関する一考察（その2）

### — 歌唱教材理解の現状と課題 —

A study on musical guidance in training curriculum of a day nursery(NO2)

— Current situation and Research in the students understanding of the song teaching material —

宮脇 長谷子

MIYAWAKI Haseko

山田 美穂子

YAMADA Mihoko

#### はじめに

幼児教育における音楽指導では、幼児が好む歌唱教材を良く理解し、それらを上手に取り入れていくことが望まれる。幼児にとって「歌うこと」は最も初歩的な音楽活動であり、特別な訓練を強いるものではないと考えられるからである。また、「声」を発することの有用性ばかりでなく、歌唱教材は幼児期に特有な「言葉の獲得」の面でも大いに貢献出来るものである。さらに、保育の現場では、生活に密着した歌や季節の歌、行事の歌等様々な歌唱教材を取り上げることによって、音楽能力育成以外の効果を得ているものと思われる。

それに対して、養成校においては長い間クラシック音楽の基礎的な技能訓練が重視される傾向にあり、歌唱教材そのものの学習は学生の自主性に委ねられて来たと言える。平成16年まで各都道府県主催（厚労省委託）で行われてきた「保育士試験」でも、実技試験の課題曲は「ピアノはバイエル」、「声楽はコンコーネかコールキューブングン」から出題する県が圧倒的に多く（注1）、逆に養成校もこれに準じた授業をするという悪循環も見られた。本学でも昨年度までは、声楽担当者の理念により「基礎技能Ⅰ（音楽）」の時間に幼児の歌唱教材を取り上げることはなく、宮脇が「保育内容（表現）」の中で補足的に歌わせるのみであった。

長い間続いたこのような傾向に対して、平成17年度から始まった「全国統一保育士試験」（全国保育士養成協議会主催）の音楽課題が「幼児の歌唱教材の弾き歌い」のみ（2曲）となり、筆者はその思い切った改革を大いに評価している。歌う力と伴奏能力を統合し、かつ保育者自らがこどもに、こどもが好きな歌を「歌って聴かせる」、その能力・表現力を正当に評価できる課題であり、さらに、伴奏楽器もピアノに固定せず、ギターやアコーディオンも認め、柔軟性を示している。これに対して本学は「弾き歌い」の伴奏については、すでにピアノ学習のカリキュラムに組み込んでいるものの、「歌唱」については、幼児の歌唱教材をきちんと見直し、学習する機会を学生達に提供しなければならないと考え、交代した声楽担当者（山田）の協力のもと授業改革に取り組むこととした。

## 1 19年度授業概要

昨年度までの「基礎技能I（音楽）」は「声楽教本」（小学校課程・幼稚園課程・保育士養成課程用 森田百合子他著 教育芸術社）というテキストをそのまま使い、その中の「コンコーネ」「コールユーブンゲン」「リズム打ち」を特に重視して授業を行ってきた。本年度は、同じテキストを使いながら、幼児の歌唱教材69曲（表1参照）を山田が選曲し、副教材として学習することとした。出来るだけ「実践力を身につける」という教育目標から、ソルフェージュ的内容も「歌唱教材」の中で取り上げ、コンコーネ、コールユーブンゲン等の基礎練習に時間を割かない方針でスタートした。基本的に（1）こどものうた（2）あそびうた（3）歌唱（4）理論・その他、の4分野を並行させながら授業を構成した。以下、各分野の内容を示す。

### （1）こどものうた（幼児の歌唱教材）

保育現場で使うことを想定し、現場に相応しい歌い方と、遊び方、伴奏法等にも触れながら学習する。

チーリップ以下、表1に示した69曲の中から副教材として選んだ58曲を毎時間2曲ずつ歌う。曲目は前の回に予告し、「歌えるようにしてくる」、つまり「予習」を義務づけた。

### （2）あそびうた

上記の「こどものうた」と区別して、手遊び、遊び歌を適宜取り上げる。

#### <履修曲>

おはなしゆびさん、いちにのさん、トントントンひげじいさん、てんぐのはな、一丁目のドラねこ、こどもとこどもがけんかして、小さな庭、バスごっこ、とおoryんせ

### （3）歌唱

声楽的歌唱を意図し、合唱等のいわゆる「音楽の授業」的な内容。学生の音楽的経験の幅を広げることを目的としている。

#### <履修曲>

かえるの合唱（4部輪唱）、おかあさん、世界中のこどもたちが、こどもの世界、こどもの世界（2部合唱）かたつむり（2部合唱）、すてきなパパ、パパとぼく、おばけなんてないさ、故郷（3部合唱）、We wish you a merry Christmas、もろびとこぞりて、桃太郎、ありがとうさようなら

### （4）理論・その他（テキスト使用）

- ・こどものうたアンケート（4月13日、12月7日）
- ・「声を出す」ということ（5月18日）
- ・呼吸の観察①腹（5月25日）
- ・呼吸の観察②呼気（6月1日）
- ・講音のしくみ、リズム感について（6月8日）
- ・声域①実験 / どこまで出るか（6月22日）
- ・声域②出せる声・使える声（6月29日）
- ・移調（7月20日～11月30日）

## 2 研究の方法

上記授業を開始するにあたって、山田は学生がどれくらい幼児の歌唱教材を知っているのか、その実態を把握するためにアンケート調査を実施した（4月13日）。その結果は表1の各欄、左側の数字に示されているが、予想したとおり「学生は『こどものうた』を習熟していない」というものであった。そこで、本研究では授業で学習したのちの習熟率を同じアンケートで探ってみることとした。指導をすれば当然効果があるものと思われるが、どの程度効果があるのか、効果が少なかった場合は指導にどのような問題があるのか考察したい。

### 2-1 アンケート用紙の作成

アンケート用紙は表1の数字が書き込まれていないものである（表1は比較のために各項目とも4月と12月の2欄があるが、配布用紙は各項目に1欄）。「こどものうた」69曲は山田が経験上「現場で広く歌われている」または「子どもが好きなうた」さらに「残しておきたい歌」という視点から選曲したものである。「桃太郎」から「アンパンマンのマーチ」まで幅広い選曲を心がけた。その各曲目について、「暗譜で歌える・フルコーラス」「暗譜で歌える・一番のみ」「楽譜（歌詞）を見れば歌える・フルコーラス」「楽譜（歌詞）を見れば歌える・一番のみ」「聞いたことがある」「知らない」の6項目の中から、該当するもの一つだけ選択して丸を付けさせるものである。作成者の意図としては「暗譜で歌える」の中の「フルコーラス」が最も習熟度が高く、「知らない」が最も低いレベルを表している。また、第1回目と2回目の調査用紙は基本的に同じであるが後者にはさらに「弾き歌いが出来る」という項目を設けた。

### 2-2 調査の方法

調査用紙を配布し、記入して貰う。回答時間は30分程度、無記名とした。記入に際しては歌ってみせたり、説明することなく曲名だけで自己判断する。

- ・対象学生 社会福祉専攻「基礎技能I（音楽）」受講生・1年生
- ・第1回 4月13日 第1講授業内 回答人数 43（5月1名退学）
- ・第2回 12月7日 第22講授業内 回答人数 42

## 3 調査の結果及び考察

### 3-1 第1回目調査と第2回目調査の比較（表1 表2）

こどものうた69曲について「暗譜で歌える」から「知らない」までの6段階のどれかに丸をつけた人数の実数を、4月と12月の対比も含めてまとめたものが表1である。12月の調査ではさらに「弾き歌いができる」という項目を設け、学生の自己申告・意識を見る。4月と12月の比較において、回答者が同数ではないが（43名と42名）、1名違いであること、学生の自己申告であるためにもともとブレがあることを考慮し、そのまま実数で比較することとした。また「一番のみ」の項目の「-」印は一番しかない曲であることを示している。さらに、12月7日の段階で山田がまだレッスンをしていない曲が26曲あったが、その中の16曲は前期の「保育内容I（表現）」で宮脇が歌わせているので、完全な未学習曲を10曲と定めてグレーで区別している。

表1 基礎技能Ⅰ（音楽）アンケート -こどものうた-（数字は人数）

曲 目	暗譜で歌える				楽譜（歌詞）を見れば歌える				聞いたことがある		知らない		無回答		弾き 歌い
	フルコーラス		一番のみ		フルコーラス		一番のみ		4月	12月	4月	12月	4月	12月	
	4月	12月	4月	12月	4月	12月	4月	12月	4月	12月	4月	12月	4月	12月	
チューリップ	42	40	-	-	1	2	-	-	0	0	0	0	0	0	24
ぶんぶんぶん	1	41	0	0	37	1	2	0	3	0	0	0	0	0	28
かえるの合唱	40	42	-	-	3	0	-	-	0	0	0	0	0	0	25
ちょうちょう	26	33	-	-	16	9	-	-	1	0	0	0	0	0	28
こいのぼり	22	33	-	-	15	9	-	-	2	0	3	0	1	0	4
ぞうさん	4	41	35	0	1	1	2	0	0	0	0	0	1	0	14
手をたたきましよう	0	34	9	5	8	3	10	0	5	0	9	0	2	0	16
犬のおまわりさん	3	35	29	3	6	4	5	0	0	0	0	0	0	0	9
走るの大好き	0	2	0	4	0	28	0	1	0	5	42	0	1	0	2
かたつむり	4	38	24	2	4	0	0	0	4	0	7	2	0	0	12
大きなたいこ	1	32	-	-	0	9	-	-	1	0	40	1	1	0	5
むすんでひらいて	2	25	28	6	9	9	4	0	0	1	0	1	0	0	15
とけいのうた	0	1	3	5	0	24	0	0	3	8	36	4	1	0	3
おかあさん	0	17	4	6	3	15	4	0	7	2	25	2	0	0	3
かわいいかくれんぼ	0	6	1	9	4	19	2	0	2	3	33	5	1	0	1
森のくまさん	10	36	15	2	16	3	1	0	0	0	0	1	1	0	10
こたりのうた	0	33	2	5	4	3	2	0	2	0	31	1	2	0	0
ありさんのおはなし	0	36	0	4	1	2	1	0	1	0	38	0	2	0	0
おつかいありさん	0	13	3	12	4	15	8	0	8	1	19	1	1	0	0
たなばたさま	2	18	7	9	4	13	3	0	6	1	19	1	2	0	0
しゃぼん玉	22	36	-	-	14	4	-	-	2	0	4	2	1	0	11
ぶらんこ	0	22	0	6	0	13	1	0	3	0	37	1	2	0	2
さっちゃん	1	16	22	14	15	12	3	0	1	0	0	0	1	0	4
月	0	6	0	6	1	22	0	1	2	6	37	1	3	0	7
こぎつね	1	10	8	11	6	21	8	0	3	0	15	0	2	0	16
どんぐりころころ	2	26	31	9	8	7	1	0	0	0	0	0	1	0	16
ふしぎなポケット	2	13	15	12	12	16	6	0	0	1	7	1	1	0	7
こおろぎ	0	4	0	6	2	18	1	1	4	10	33	3	3	0	2
おなかのへるうた	0	9	12	10	9	18	7	1	3	2	11	2	1	0	2
まつぼっくり	0	19	-	-	1	18	-	-	2	3	38	2	2	0	8
山の音楽家	1	6	11	16	13	20	5	0	5	0	7	0	1	0	3
やぎさんゆうびん	2	27	18	5	6	7	5	0	3	2	8	1	1	0	7
大きな栗の木の下で	35	38	-	-	7	2	-	-	0	0	0	2	1	0	18
夕焼小焼	0	10	22	13	8	18	8	0	1	1	2	1	2	0	0
アイアイ	0	6	26	8	12	18	5	0	0	0	0	0	0	0	4
メリーさんの羊	0	13	30	18	6	11	6	0	1	0	0	0	0	0	17
おはなし指さん	0	11	1	5	3	19	0	1	5	2	33	4	1	0	1
雨ふりくまのこ	0	9	2	7	3	24	1	0	5	2	31	0	1	0	8
おんまはみんな	0	8	2	8	1	21	2	1	7	3	30	1	1	0	1
おもちゃのチャチャチャ	3	10	22	13	13	18	5	0	0	0	0	1	0	0	3
とんぼのめがね	2	17	13	12	11	12	10	0	4	1	3	0	0	0	15
そうだったらいいのにな	0	0	10	7	6	34	6	1	17	0	4	0	0	0	2
あわてんぼうの サンタクロース	7	14	15	10	16	18	5	0	0	0	0	0	0	0	7
南の島のハメハメハ大王	0	1	14	12	17	27	7	0	3	2	1	0	1	0	1
きよしこのよる	17	13	-	-	16	25	-	-	2	0	8	4	0	0	6
もちつき	1	3	-	-	1	13	-	-	4	15	35	11	2	0	1
お正月	0	10	24	12	6	17	5	2	7	1	1	0	0	0	4
たきび	0	11	13	15	10	14	7	1	7	1	6	0	0	0	8
とんでったバナナ	1	3	2	9	14	23	1	0	5	7	18	0	2	0	2
春が来た	0	7	20	17	11	16	4	0	3	1	5	1	0	0	7

コンコンクシャンの歌	0	0	0	1	0	10	0	2	1	18	40	11	2	0	0
一年生になったら	2	9	24	14	10	18	4	0	2	0	1	1	0	0	3
まめまき	0	0	1	4	0	18	0	2	2	15	38	3	2	0	3
雪	1	10	10	12	6	19	3	0	0	0	21	1	2	0	5
うれしいひなまつり	2	7	12	18	11	17	2	0	4	0	12	0	0	0	3
思い出のアルバム	1	8	9	17	16	17	2	0	3	0	11	0	1	0	20
みんなともだち	0	0	6	9	4	28	7	1	8	3	17	1	1	0	4
ずっとともだち															
さんぽ	5	12	19	18	13	12	3	0	1	0	2	0	0	0	9
世界中のこどもたちが	15	26	-	-	15	16	-	-	2	0	10	0	1	0	11
おぼけなんてないさ	1	6	14	18	10	18	9	0	6	0	3	0	0	0	3
お花が笑った	0	5	0	16	0	22	1	2	1	5	39	2	2	0	2
桃太郎	0	2	17	20	7	17	3	0	6	1	10	2	0	0	0
富士山	0	1	12	14	7	19	2	0	5	8	17	0	0	0	1
うみ	1	11	21	13	12	17	4	0	2	0	3	1	0	0	2
すうじのうた	0	1	0	2	2	25	2	0	1	10	36	4	2	0	2
バスごっこ	0	8	1	6	2	18	0	1	2	6	36	3	2	0	2
アンパンマンのマーチ	0	0	20	15	9	26	7	0	5	0	2	1	0	0	4
ドラえもののうた	1	1	28	17	8	20	4	0	2	1	0	3	0	0	2
小さな世界	1	2	16	13	13	24	4	0	0	0	9	3	0	0	3

表1は全体に細かく見づらいという難点があり、「授業で学習した効果があったのか」どうか分かりにくい。特にトップの「チューリップ」では、「暗譜で歌える（フルコース）」の選択者が4月（42名）よりも12月（40名）の方が少なく、いきなり仮説が否定され狼狽する。そこで全体的な傾向を把握する為に、各項目の選択総数と1曲あたりの平均選択人数を出してみたところ、学習による効果を確認することが出来た。その結果は表2で示す。

表2 アンケート - こどものうた - 集計表

		暗譜で歌える		楽譜（歌詞）を見れば歌える		聞いたことがある	知らない	無回答	計
		フルコーラス	一番のみ	フルコーラス	一番のみ				
第1回 (4/13) N=43	総数	284	703	529	210	197	983	61	2967 (43x69)
	平均	4.1	12.1	7.7	3.6	2.9	14.2	-	-
第2回 (12/7) N=42	総数	1043	560	1036	18	148	93	0	2898 (42x69)
	平均	15.1	9.6	15.0	0.3	2.1	1.3	-	-

総数は選択した人数の合計、平均は1曲あたりの選択人数

表2で目につくのは、「暗譜で歌える（フルコース）」と「知らない」の項目の総数・平均が逆転していることである。前者は4月が1曲あたり平均4.1人、12月は15.1人で11人も増えている。逆に「知らない」と答えた学生は、4月が平均14.2人、12月は1.3人で12.9人減っている。グレード最高位と最低位で明確な結果が出ているが、中間領域で数値の差が大きいと言えるのは「楽譜（歌詞）を見れば歌える（フルコーラス）」の7.7人と15.0人であり、12月が7.3人多くなっている。他の3項目「暗譜で歌える（一番のみ）」は2.5人、「楽譜（歌詞）を見れば歌える（一番のみ）」は3.3

人、「聞いたことがある」は0.8人、とそれぞれ4月の方が多かった。6項目のどれか一つを選ぶのだから、増えるところがあれば減少するところが出てくるのは当然であるが、「暗譜で歌える」「楽譜（歌詞）を見れば歌える」はともに、4月は「一番のみ」と答えた学生が12月は「フルコーラス」へ移行したと思われる。

学習をすれば歌えるようになるのは当然の結果であろう。しかし12月の調査でも「知らない」曲があると答えている学生数が93人、1曲当たり平均1.3人いることに疑問を感じた。その原因はまだ未学習の曲があるからであり、その数値が影響を与えているのではないかという仮説のもとに、山田、又は宮脇がレッスンを終了した学習曲（59曲）と未学習曲（10曲）を比較してみることにした。その結果をまとめたものが表3である。

### 3-2 学習曲と未学習曲の比較（表3）

表3 アンケート-こどものうた-学習曲と未学習曲の比較

		暗譜で歌える		楽譜（歌詞）を見れば歌える		聞いたことがある	知らない	弾き歌いが出来る
		フルコーラス	一番のみ	フルコーラス	一番のみ			
学習曲 (12/7) 59曲	総数	1002	457	849	15	97	58	442
	平均	17.0	1.0	14.4	0.3	1.6	1.0	7.5
未学習曲 (12/7) 10曲	総数	41	103	187	3	51	35	26
	平均	4.1	12.9	18.7	0.4	5.1	3.5	2.6

総数は選択した人数の合計、平均は1曲あたりの選択人数

表3からは、「暗譜で歌える・フルコーラス」「知らない」で逆転現象がみられ、グレードの中間領域「暗譜で歌える・一番のみ」から「聞いたことがある」までは未学習曲の方が平均人数が多いという結果が得られた。つまり、表2とほぼ同じ結果であり、学習をすれば「暗譜でフルコーラス歌える」学生が増え、「知らない」と答える学生の数が増えることが立証されたと言えよう。12月の調査で「知らない」と答えた学生93人中、35人は未学習曲に対するものであり、学習曲で「知らない」は1曲当たり平均1.0人となった。それに対して未学習曲は3.5人となるが、4月の段階で「知らない」と答えた学生の平均が14.2人であったのに比べると遙かに減少している。未学習という条件は同じはずなのに、約9ヶ月後にその数値が減少している点が興味深い。例えば「桃太郎」は10人から2人、「富士山」は17人から0となり、「バスごっこ」は36人から3人に減少している（表1参照）。また「楽譜（歌詞）があればフルコーラス歌える」という自信が持てているようであり、この項目の増加率が高い。例えば「富士山」は7人から19人、「バスごっこ」は2人から18人、「アンパンマンのマーチ」は9人から20人、「ドラエもののうた」は8人から20人に増えている。

この結果を好意的に解釈すれば、歌唱教材を授業中に取り上げて学習することによって歌への関心が高まり、習わない曲に対しても日頃どこかで接していると言えようか。逆に授業で取り上げて

も、無関心なのか、受けとめの悪い学生は必ずいるということも思い知らされる。落胆を覚えたのは、宮脇、山田ともに授業に取り上げているにも関わらず、「かわいいかくれんぼ」「おはなし指さん」の2曲でともに4人の学生が「知らない」と答えていることであった。知らないはずがないのであるが、曲のタイトルと楽曲が結びつかないこともあるのだろう。しかし、日頃から曲名を正確に覚え、楽譜がなくてもその場に適した歌唱教材をすぐに歌えるような保育士を志して欲しいものである。

最後に、「弾き歌いが出来る」というチェック項目は、先に述べたように「全国統一保育士試験」の課題を意識して設けたものであるが、学習曲では平均1曲当たり7.8人、未学習曲でも2.7人の学生が「出来る」と答えており、1年生であることからするとある程度評価出来るのではないかと考える。宮脇のピアノレッスンにおいても、学生が「声楽の時間に習っている歌の伴奏をレッスンして下さい」と自ら申し出るケースが増えてきており、これからも声楽とピアノの授業の連携をはかっていきたいと考える。

## まとめ

今回の調査により、歌唱教材を指導することの有効性と重要性を認識することが出来た。一方で調査そのものの有効性については疑問もあり、今後の課題としたい。まず、「暗譜で歌える」「楽譜（歌詞）をみれば歌える」、「聞いたことがある」「知らない」というグレードの設定が曖昧で「聞いたことはあるが歌えない」という場合と、「聞いたことがあるから少しは歌える」と言った具合に回答者は迷ったのではないかと推測される。また、「フルコーラス」「一番のみ」というグレード分けをしながら、「一番」しかない曲が11曲設定されていたり、「歌える」と言う概念の中に「正確さ」を計る尺度がない点など、全体に雑な調査となったことを反省せざるを得ない。しかし、学生にとって、まずは「この曲、知っている」という感覚が大切であり、その意味で本調査は学生の自覚を促す意味では有効であったと思われる。4月の段階で、保育者を目指しながら「こどものうた」を知らない自分の姿に気付き、学習した結果「知っている曲が増えた」となれば、そこに喜びが生まれるのではなかろうか。

本年度の授業改革は、第一段階としてある程度評価出来ると考えているが、来年度は、「ただ何曲覚えたか」と言うだけでなく、「どのように歌えるか」「どのように歌うべきか」といった内容の充実についてさらに検討したい。

(注)

### (1) 先行研究

- ・宮脇長谷子、笠井かほる、井口太「保育実践における歌唱教材の検討 - 保育者養成の教材研究として -」日本保育学会第45回研究大会論文集 p263 ~ p264 1992年
- ・笠井かほる、井口太、宮脇長谷子「保育者養成における音楽教材の検討（その7） - 保育士試験の課題内容の現状について -」日本保育学会第53回研究大会論文集 p404 ~ p405 2000年

(2007年12月27日受理)